

渡辺交配 YR拓洋 大根

イオウ病、ウイルス病抵抗性、
耐寒性のある青首大根。

葉は、開張性で、低温時の肩割れや皮剥けなどの凍害がでにくい。
播種期を誤ると特性が発揮できない。



ウイルス、イオウ病の複合抵抗性、耐寒性が有り冬穫りに最適な青首総太り

渡辺交配 YR拓洋大根

特性

- 1 葉は黒葉の半開張性で耐寒、耐暑性に優れる。
- 2 イオウ病、ウイルス病に特に強い。
- 3 耐候性があり、高温期の収穫でも赤芯黒芯が出にくい。低温期の収穫での凍害や内部緑変が少なく、す入りが遅い。
- 4 根形はやや長めの総太りで、首の色は淡緑、抽根が小さく曲がりにくい。肌が白くつやがあり、肉質は緻密で品質良い。
- 5 生育はやや遅く秋穫りで60～65日、冬穫りでは75～90日を要する。

適応地域、作型


	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
東北高冷地			○		■		■					
一般地	○		■ (マルチ)		○		○		■ (遅い貯蔵)			
暖地						○	○			■		■

栽培の要点

- ① 未熟有機物の分解促進と水はけのよい畑作りをする。
未熟有機物が多く水分があると立ち枯れ病や亀裂かっ変、横しま症の発生や裂根、岐根の原因になる。
- ② 春蒔きは抽台防止のために地温を上げてから播種する。
発芽時期に10℃以下の温度が長いと花芽ができて抽台してくる。
- ③ 播種は深さ2～3cmに3粒点播をして本葉4～5枚頃生育の良い株を残す。
1粒蒔きは風害や病虫害などで欠株が多く収量が落ちる。3cmの深さに3粒蒔きをしておく乾燥していても、雨で表面が固められても発芽不良は起きにくい。間引き時に障害を受けているものは生育が悪く、正常なものは生育が良い。
- ④ 病虫害防除は発生する前に農薬を散布して予防する。
キスジノミハムシ、コガネムシなどの防除は播種時に殺虫剤を土壌混和しておく。本葉展開頃から7～10日間隔で殺虫剤、殺菌剤を3～4回散布する。
- ⑤ 秋冬穫り栽培では8,000～10,000本の密植する。生育日数がかかるため生育の早い品種を同時に蒔き出荷期を合わせる。
寒さの強い所ではノラスライトの直掛けやビニールなどで霜除けをする。耐寒性、品質保持のために追肥をする。2月下旬以後の収穫では被覆資材を除去して抽台を抑える。

育成発売元

種子のお求めは

 渡辺農事株式会社

本社 千葉県野田市柳沢13 TEL0471-24-0111
研究農場 茨城県岩井市神田山 TEL0297-35-5234